

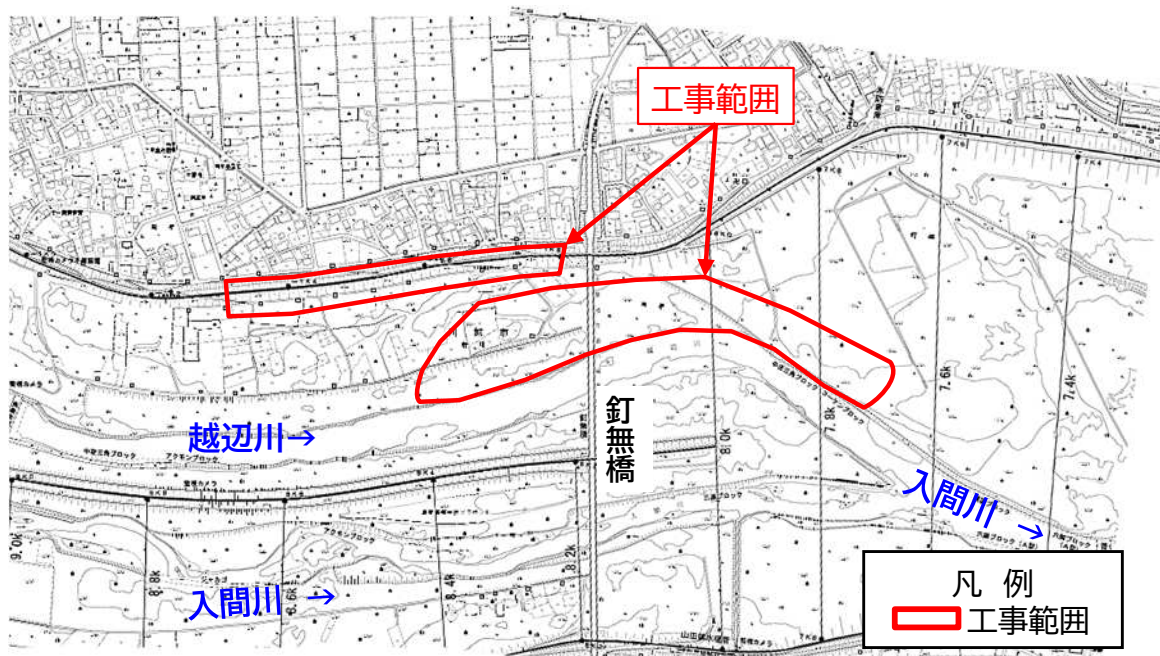
斜め写真



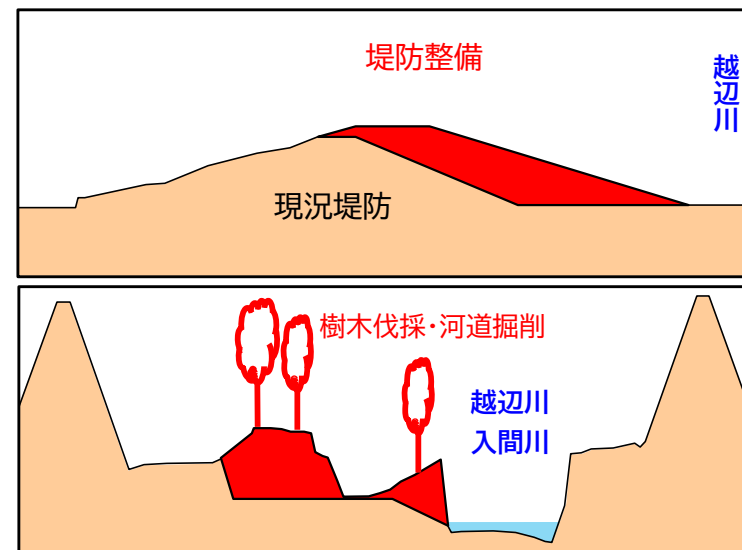
○着 手:令和4年4月
○完了予定:令和5年3月末

※堤防整備は11月以降に施工

平面図



標準断面図



工事の目的

- ・流下能力向上を目的とした樹木伐採・河道掘削。
- ・堤防の高さと幅が不足する区間における堤防整備。



写真① 釘無橋から下流方向



写真② 背割堤から工事方向

「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより

主な環境情報

- ・調査範囲内のうち、釘無橋の下流側は令和2年から河道掘削を実施しており、主に裸地、草地などで構成されている。
- ・釘無橋の上流側は、主に樹林地、草地などで構成されている。樹林地は、主にジャヤナギやアカメヤナギが優占するヤナギ林で構成されており、草地は、ヨシ、カナムグラ、オオブタクサが優占する。動物では、カワセミ、ホオジロ、アゲハなどが確認されている。
- ・樹林地では重要種(鳥類)が確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。
- ・地盤を切り下げることによって、冠水頻度が上がり、多様な動植物が生息する場となることを期待する。
- ・重要種(鳥類)については生息状況を定期調査し、生息等に影響が予測される範囲は影響の無い期間に施工する。¹⁴